

大谷地沢、シラカ沢

1981年8月30日

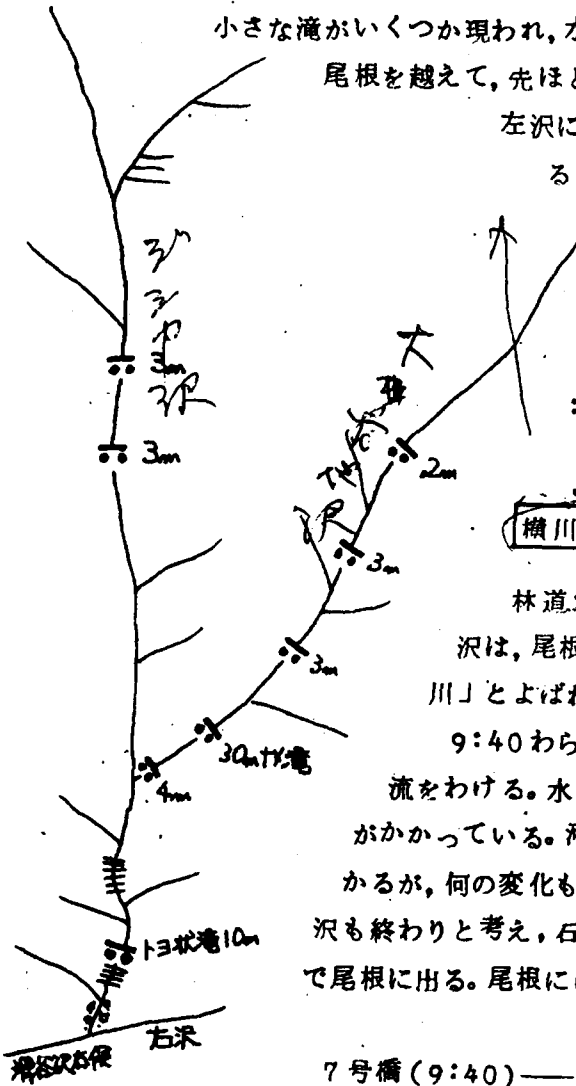
**滑谷沢右俣左沢**

滑谷沢右俣左沢に入る。最初は川原状、続いて滑谷沢左俣上流のような青みがかかったナメ床が続く。しばらくナメ床を遡ると、116kmピークより派生している尾根によって沢が二分され、右側の沢には4mの滝がかかっている。この滝の左岸を登ると沢は左に曲がり、正面に30mのナメ滝を落している。それを越すと小さな滝がいくつか現われ、水もかかっている。左側にヤブをこぎ尾根を越えて、先ほどわかれた左沢の下降に移る。

左沢には右沢ほど顕著な滝もなく、苦労することなく合流点に着く。

(記。)

滑谷沢右俣左沢分岐 (9:50)  
 ) — 二俣 (10:20) — 尾根 (11:30, 12:00) — 二俣 (12:40)



**横川(鳥川支流)** 1981年8月29日

林道鳥川線の7号橋から沢に入る。この沢は、尾根1つ越えた小川支流と同じく「横川」とよばれている。

9:40わらじをつけて出発する。すぐ左に支流をわける。水量は右の本流の方が多い。小さな滝がかかっている。河原が続く。時々2~4mの滝がかかるが、何の変化もない。12:45、地形から判断して沢も終わりと考え、右岸の尾根に向かって登る。5分程で尾根に出る。尾根には廃道化した道があった。

(記。)

7号橋 (9:40) — 終了 (12:20) — 尾根 (12:25)

滑谷沢右俣左沢  
 (作図: 萩原)